

4 - 1 伊豆半島およびその周辺の地震活動

Seismic Activity in and around the Izu Peninsula (May-October, 1996)

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division

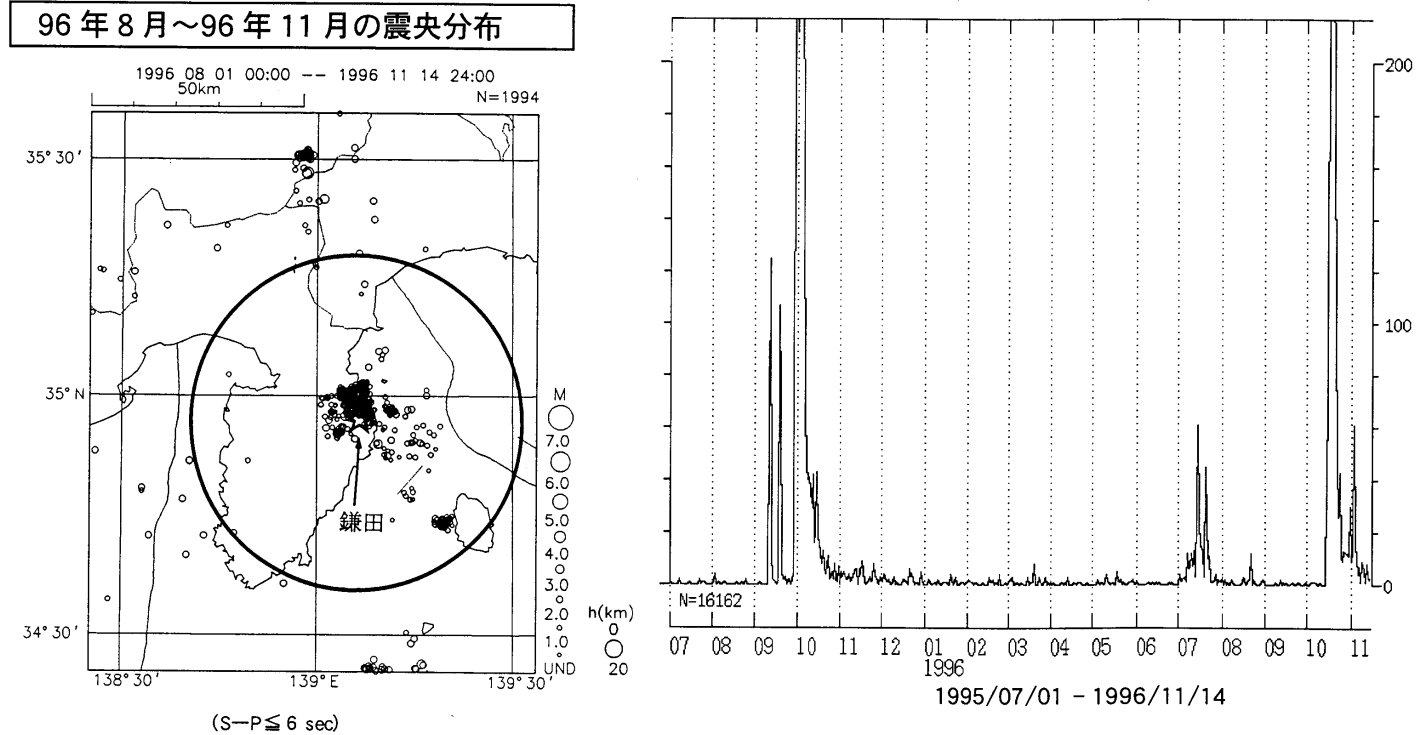
Japan Meteorological Agency

第1図右は1995年7月～1996年11月14日までの伊東市鎌田観測点でS - P時間が6秒以下の地震の日別地震回数で、同図左は1996年8月からの伊豆半島およびその周辺に発生した地震の震央分布を示す。1996年7月2日から28日にかけて、地震動がやや活発になり、この期間の地震回数は315回であった。この地震活動は沿岸からやや内陸に入った深さ5～10 km程度のところで発生し、この地震活動に伴う明瞭な地殻変動は見られない(第2図)。

1996年10月15日からの地震回数は、15日74回、16日2172回、17日1992回で、最大M4.1(10月16日)の地震を含み10月24日までで5771回あった。第3図の地震の深さの時間変化に見られるように、最初は10 kmよりも深いところで発生していた地震が短時間で5 kmほどの深さに上昇した。18日頃から、地震活動は海域から陸域にも広がるとともに、浅いところでも発生するようになり、発生回数は減少していった(第3図)。また、第3図に示されるように、この群発地震活動に伴って、東伊豆の体積歪計や大崎の傾斜計などで、地殻変動が観測された。

第5図は、10月15日からの活動の主な地震のメカニズムである。海域(a,b,c)の地震は、ほぼ北西 - 南東に主圧力軸を持つ横ずれ断層である。陸域(d,e)の地震は正断層型のメカニズムであった。

伊東市鎌田における日別地震回数
($S-P \leq 6 \text{ sec}$)

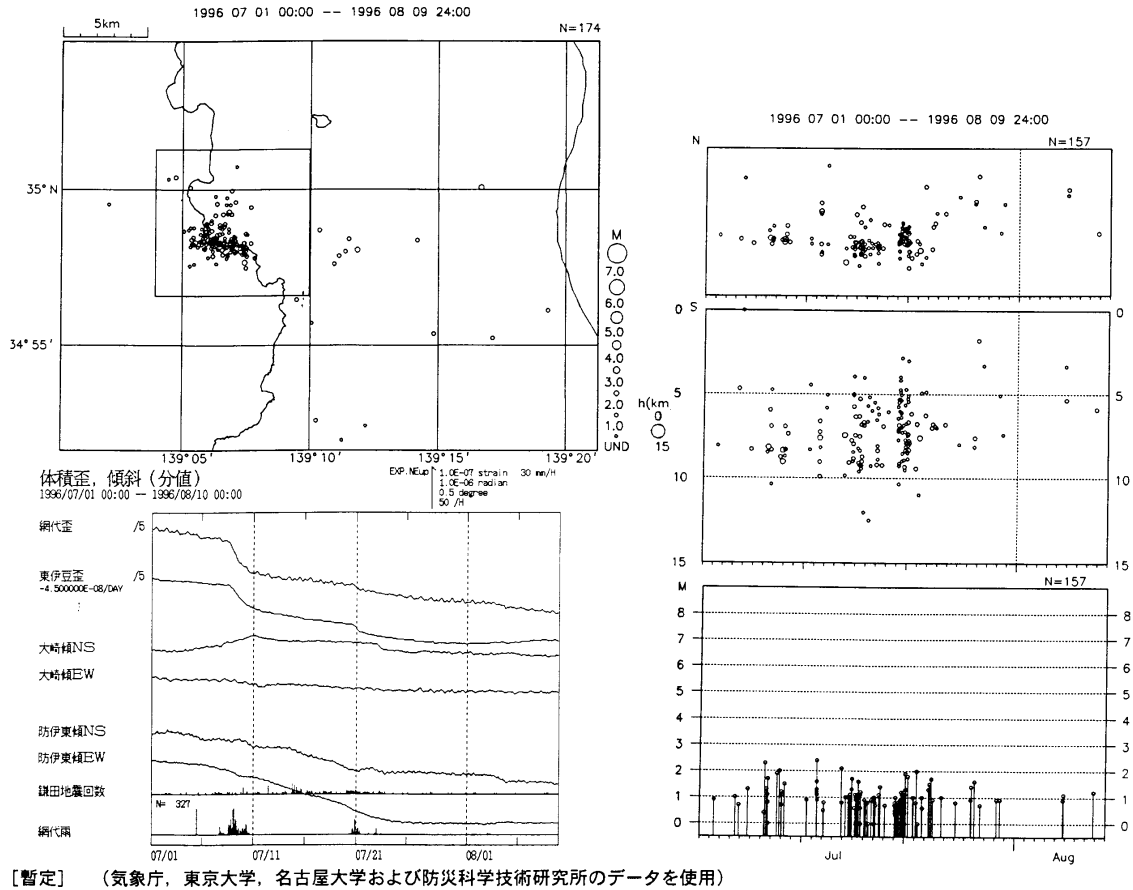


〔暫定〕 (気象庁, 東京大学, 名古屋大学および防災科学技術研究所のデータを使用)

第1図 伊東市鎌田における日別地震回数 ($S-P \leq 6 \text{ 秒}$)。挿図は1996年8月1日11月14日の震央分布。

Fig. 1 Daily number of earthquakes observed at Kamata in Ito city ($S-P \text{ time} \leq 6.0 \text{ sec}$). Inset shows epicenters for August 1 to November 14, 1996.

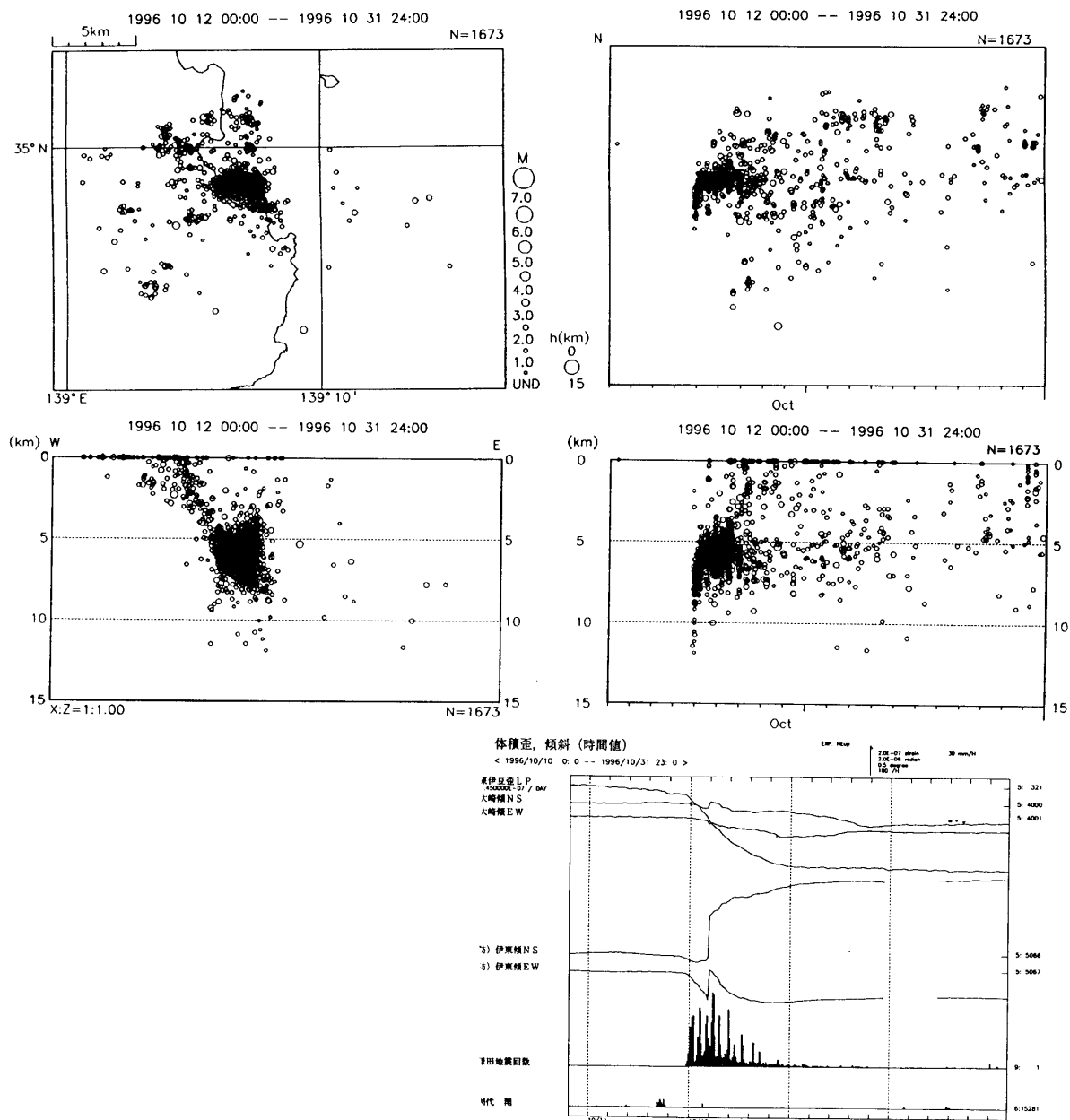
伊豆半島東岸の地震活動について



第2図 7月1日～8月9日の伊豆半島東方沖の地震活動。 震央分布。 矩形領域内の南北断面の時空間分布。 震源の深さの時間変化。 M - T図。 体積歪および傾斜変動。

Fig. 2 Seismic activity off shore of the Izu Peninsula from July 1 to August 9, 1996. Epicentral distribution. Time - space diagram for the earthquakes in the rectangular area. Focal depth - time diagram for the earthquakes. M - T diagram. Variations of the volumetric strain and tilt.

伊豆半島東方沖の地震活動（1996年10月12日-10月31日）20日間



【暫定】（気象庁，東京大学，名古屋大学および防災科学技術研究所のデータを使用）

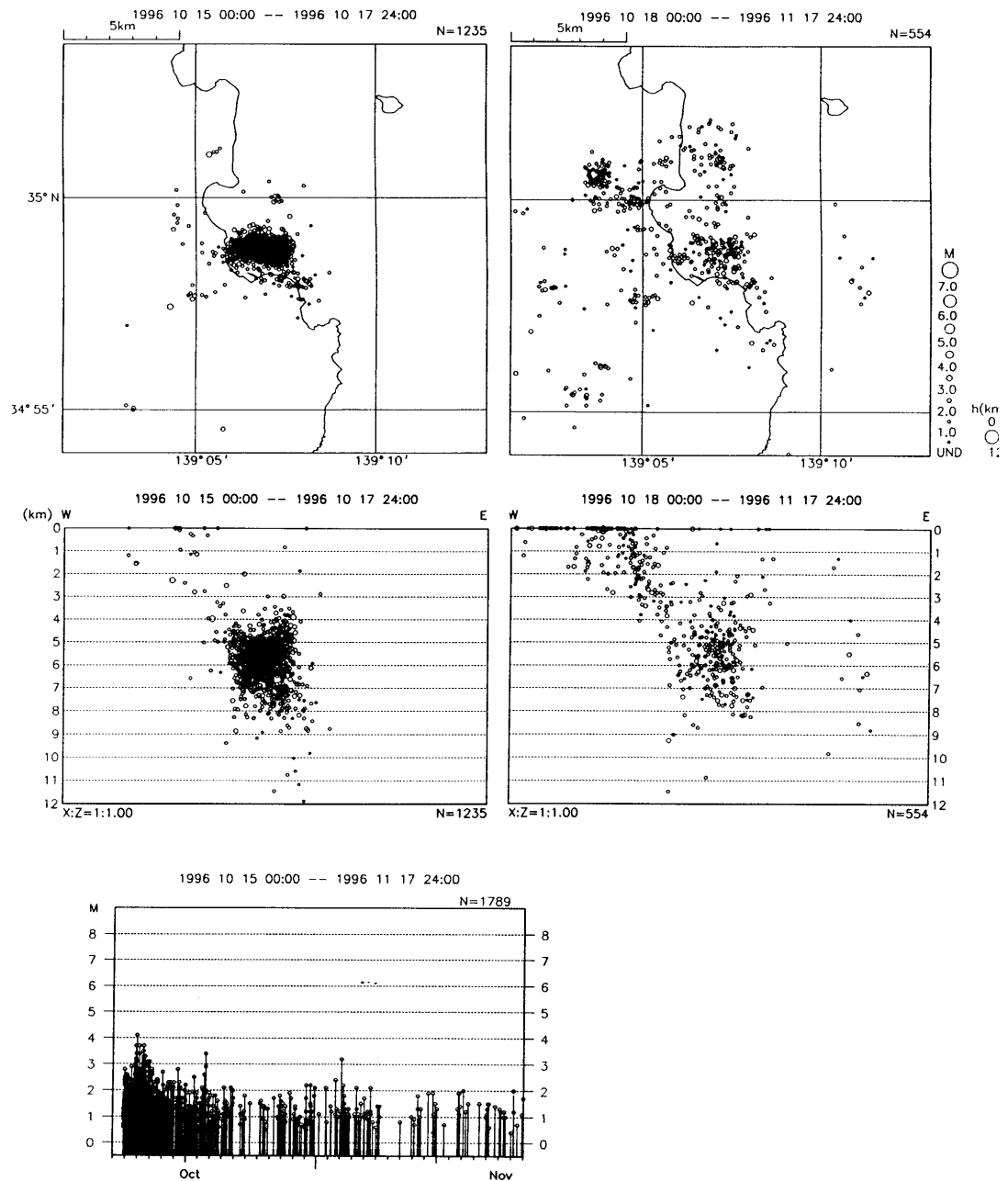
第3図 10月12日～10月31日の伊豆半島東方沖の地震活動。震央分布。南北断面の時空間分布。東西断面の地震の深さ分布。震源の深さの時間変化。体積歪および傾斜変動。

Fig. 3 Seismic activity off shore of the Izu Peninsula from October 12 to 31, 1996.

Epicentral distribution. Time - space diagram. Vertical cross section.

Focal depth - time diagram. Variations of the volumetric strain and tilt.

伊豆半島東方沖の地震活動



【暫定】（気象庁，東京大学，名古屋大学および防災科学技術研究所のデータを使用）

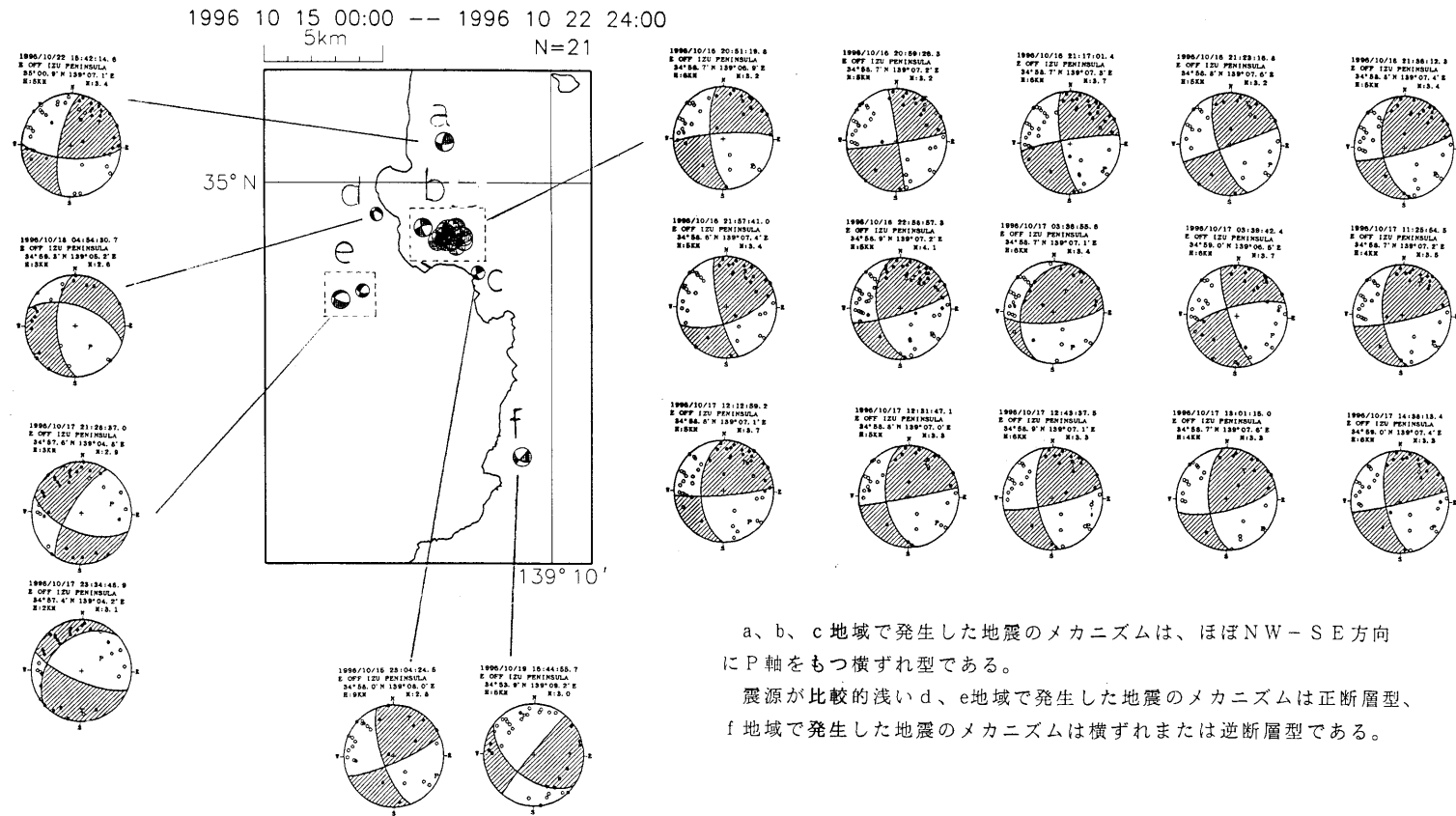
第4図 10月15日～11月17日の伊豆東方沖の地震活動。 10月15日～10月17日の地震の震央分布と東西断面図。 10月18日～11月17日。 M - T図。

Fig. 4 Seismic activity off shore of the Izu Peninsula from October 15 to November 17, 1996.

Epicentral distribution and vertical cross section from October 15 to 17.

From October 18 to November 17. M - T diagram.

伊豆半島東方沖の地震の主なメカニズム [暫 定]



(下半球等積投影)

(気象庁、東京大学、名古屋大学、防災科学技術研究所のデータを使用)

第 5 図 10 月 15 日 ~ 10 月 22 日の伊豆東方沖の主な地震のメカニズム

Fig. 5 Focal mechanism solutions of main earthquakes off shore of the Izu Peninsula from October 15 to 22, 1996.